

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所)

事業者名	社会福祉法人じねん グループホーム愛敬(愛)	評価実施年月日	平成19年8月20日
評価実施構成員氏名	櫛山 圭子 菅原 幹子 木全 友枝 鉢呂 真澄 荒谷 加津江 辻 明美 深沢 路子 萩山 美希 橋本 尚恵 稲垣 由紀子		
記録者氏名	櫛山 圭子	記録年月日	平成19年8月25日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>理念に基づく運営</p> <p>1. 理念の共有</p>			
<p>1 地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>理念をホーム内に明示し実践している。</p>		
<p>2 理念の共有と日々の取組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>毎朝のミーティングで理念の朗唱を行い、実現に向けて全員で取り組んでいる。</p>		<p>毎朝ミーティング時の朗唱。毎朝ミーティング時の再確認。</p>
<p>3 家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>説明文章への記載、ホーム内数カ所に明示し、家族や地域の人々に理解して頂ける様にしている。</p>		<p>ホーム内、目に付く場所への明示。</p>
<p>2. 地域との支えあい</p>			
<p>4 隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>挨拶の励行に努め、誰でも気軽に立ち寄って頂ける様な雰囲気作りに配慮している。</p>		<p>隣近所より野菜を頂いたり、アドバイスを受けたり、お付き合いしている。</p>
<p>5 地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>行事案内、お便りの配信を行っており、地域の方々の行事への参加も頂き利用者との交流の場にもなっている。</p>		<p>年3回のお便りの全戸回覧、行事案内及び参加を頂いている。</p>
<p>6 事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>運営推進委員会等を通し「役立つ事はないか」話し合いを行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>評価された点について全職員に周知徹底し、改善に努めている。</p>	<p>改善点についての話し合い。また良い点についても更なる向上に努めたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>2ヶ月毎に開催し、様々な意見を頂き、サービスの向上に活かしている。</p>	<p>些細な事でも率直な意見を頂けるような話し合いの場としていきたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>町との連携をはかっている。</p>	<p>納涼祭での準備、お手伝いをして頂いている。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>外部研修などをつうじ学ぶ機会をもっている。今後必要な場面での対応は可能である。</p>	
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>ミーティング等で虐待防止関連について全員で話し合いを行っている。事業所内での虐待はない。</p>	<p>全職員で虐待防止について周知徹底を今後も継続していく。</p>
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明をし、理解を得ている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の意見等は、受け入れている。		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	面会のある家族には、その都度報告し、また長期面会のない家族には、定期的な電話にて状況報告をしている。		面会時の近況報告、面会の滞っている家族への報告等を継続。
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	窓口職員を明確にし、対応を行っている。		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全職員との個人面談により、意見を聞く機会を設けている。		ミーティング時に職員より意見、提案を聞く。
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	状況に応じ、勤務の調整に努めている。		状況に応じ調整している。
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	十分に配慮し、利用者に影響の無いよう最小限に抑えるよう努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>研修やホーム内での勉強会を開いている。</p>	<p>必要に応じた研修会参加や月1回のミーティング時には勉強会を開き職員育成に努めている。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>管内の集まり、勉強会に出席し交流、意見交換、ネットワーク作りに取り組んでいる。</p>	
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>悩みの聴取等は常に気をつけている。</p>	<p>これからも必要と考えている。職員相互の親睦を深め、悩みストレスの軽減に取り組んでいきたい。</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。</p>	<p>勤務状況の把握をしっかりと行い、向上心を持って働けるよう努めている。</p>	<p>希望する研修会の参加、現場での意見交換と意見の反映に努めている。</p>
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>大切なことと捉えており、会話の中で本人の気持ちを引き出し、受けとめるよう努力している。</p>	<p>相談時、本人よりじっくりと気持ちを聞くよう努めている。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>家族の思いを聞き、受けとめる努力をしている。</p>	<p>相談時、家族の意見などを受けとめるよう努めている。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	本人、家族と接するうえで、最も大切と心がけ、対応に努めている。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人の精神面に配慮し、徐々に馴染める様に努めている。		職員一同、情報を共有し徐々に馴染める様に努めている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	一緒に過ごす間を大切なものと捉えており、人生の先輩として謙虚に学ぶ気持ちを持ち接している。		生活の中で喜怒哀楽を共有できる機会が多々ある。料理等、生活の知恵などを教えて頂く場面が多くある。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族の面会の際には日頃の状況を伝え、新たな発見や共感した事等を伝えるよう努めている。		面会時に近況を伝える中で、家族より昔の話を聞いたりし、介護に活かすようにしている。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	本人との日常会話や面会時の雰囲気等より理解に努め、支援に活かしている。		本人と家族の関係を大切に思い支援している。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方の面会時には、ゆっくりと過ぎて頂ける様な雰囲気作りに努めている。		本人の希望する馴染みの場所への訪問を増やしていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	耳の遠い方、会話が上手に出来ない方には、孤立しないように仲介するなど、十分配慮している。		皆が集まる場所では、会話の仲介に努めている。
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	契約が終了した後も、継続して関わりを持っている方が何人もいる。また、そのご家族が来られることもある。		契約終了後、転移先への訪問を続けている。また、ご家族が行事等へのお手伝いを続けてくださったりしている。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その人らしく生活される為には、大切なことと捉えている。日常会話の中より、本人の気持ちを汲み取る努力をしている。		本人の思い、意向を把握する様常に努めている。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	センター方式を活用し、生活歴・生活環境の把握に努めている。		センター方式を活用している。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	一人ひとりの身体状況や変化等、些細な事でも職員間で密に連絡を取り合い、状況把握に努めている。		職員間での情報共有に努め、総合的に把握している。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	一人ひとりの課題とケアについて、全職員で話し合い、本人家族の意向を尊重した中で、介護計画を作成している。		現在も取り組んでいるが、より良い介護計画と実践に努めたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	2週間毎の経過観察の記録、3ヶ月毎の見直し、半年毎の新たな作成を行っているが状況によっては現状に即して、新たに計画の作成を行っている。		今後も現状に即した、本人の為の介護計画に努めたい。
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日々の様子は、個別介護日誌に記入し、全職員がその情報を共有し実践や見直しに活かしている。		些細なことにも気づき、個別に記録を残し、普段の介護に活かしている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	要望に応じ柔軟な対応を心がけ支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	ボランティアの協力を得て、行事等への参加、支援を頂いている。		ボランティアの月2回の訪問、消防の避難訓練、救急救命講習の協力、警察の防犯の為の協力を得ている。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	必要に応じて対応している。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	地域包括支援センターとの協力は常に行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	定期的に往診を受けたり、通院を通して日常の健康管理に努めている。		定期的な往診を受けている。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	定期的な通院を支援しており、現状を伝え医師に相談等をしている。		定期的に通院し、その際医師に相談している。
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	看護職員を確保し、定期的にかつ必要時に連絡を取り相談している。		変化があれば、相談させて頂き、対応している。
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時にはこまめに足を運び本人との関係維持に努め、また病院関係者との情報交換を行い、早期退院に努めている。		入院時には職員がこまめに病院へ足を運んで様子を見たり、話を聞いている。
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	大切なことであり、早い段階より話し合いを行っている。随時、状況に応じた対応をしている。		家族、病院と話し合いを重ねている。
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	終末期の方が、ホームでより良く過ごして頂ける様、職員一同で話し合いを重ね、状況に応じた対応を行っている。緊急時の対応についても十分話し合っている。		チームとしての支援のあり方等、職員一同が話し合いを重ねている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49	住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	関係者間で、情報交換等を行い、ダメージ防止に努めている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	プライバシーを尊重し、対応に配慮している。		
51	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	一人ひとりの意思を尊重し、自己決定の支援を行っている。		
52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その人らしさを大切にし、一人ひとりのペースに合わせて生活できるよう支援している。		一人ひとりの心身状況を注意深く見て、支援に努めている。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人の意思を尊重している。		洋服選び等、本人の意思を尊重している。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者の持っている力を発揮して頂き、共に準備・調理・食事そして片づけを行っている。		調理(皮むき等)など手伝って頂くことも多くあり、配膳もして頂き食器洗いなども共に行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	飲酒・喫煙の習慣の方はいない。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	職員同士大切なことと捉え、排泄状況把握に努め、必要時の誘導等を行い、気持ちよく排泄して頂けるよう支援している。		排泄状況一覧表を作成し、一人ひとりの状況を把握している。また、さりげない誘導を行う等している。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	本人の意思を尊重し、ゆったりと楽しんで頂けるよう支援している。		バイタルチェックを行い、状況を見て判断し、本人の意思や希望に添うよう支援している。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	一人ひとりのペースを尊重し、気持ち良く休息したり、夜間良眠出来るよう支援している。		状況に応じた支援を行っている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	生活の中で、一人ひとりの出来る役割を持って頂き、張りのある暮らしになるよう支援している。		一人ひとりの持っている力を発揮できるよう役割の提供を行っている。(掃除・台所仕事・洗濯物干し等)
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	家族からの依頼もあり、ホーム管理になっている方が数名いる。		買い物に出かけた際は、本人に支払って頂けるよう支援している。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	本人の希望にそって支援している。		利用者に同行し、対応している。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	天候に配慮し、また本人の体調に配慮した中で、外出支援をしている。		天候や身体状況に合わせた中でのドライブ等を行っている。(花見、滝見見物)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の意思を尊重し対応している。		本人自ら家族に電話される事があり、支援している。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	気軽に訪問できるような雰囲気作りに努め、訪問の際には気持ちよくゆっくり過ごせるようにしている。		訪問は多く、その際はくつろいで頂ける雰囲気づくりに努めている。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ミーティング時に、全職員が正しく理解するように努めており、身体拘束をしないケアを実践している。		全職員で話し合い、意思統一をはかり、実践している。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	全職員理解しており、鍵をかけないケアの実践をしている。		夜間防犯の為以外の施錠はない。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>全職員、常に意識して取り組んでいる。</p>		<p>安全への配慮は十分注意している。</p>
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>一人ひとりの状況に応じて、危険防止に取り組んでいる。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>大切なことと捉えており、救急救命講習、避難訓練等で知識を学び、事故防止に取り組んでいる。</p>		<p>救命救急講習、避難訓練で学んでいる。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>定期的な訓練を受け、万一の事故発生に対応できるよう努めている。</p>		<p>定期的に訓練を受けているが、万一に備え今以上に実践対応に備えたい。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>避難訓練を通し避難方法は身に付いている。水害等の心配がある時は、近隣・役場の協力を得てきた。</p>		
72	<p>リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>家族にはその都度十分説明しており、リスクに配慮しつつ、抑圧感の無い生活になるよう努めている。</p>		<p>身体状況に応じて、その都度家族と話し合っている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	午前・午後のバイタルチェックを行っている。また、体調変化を見逃さないよう常に心がけ、気づいた点は職員間で話し合い対応している。		一人ひとりの様子から、体調の変化への早期気づきに努めている。
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	全職員、大切なことと捉えており、支援している。		全職員が配薬業務に携わり、薬に対する理解に努めている。
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	一人ひとりの排便状況把握に努め、便秘の予防対応、服薬調整に努めている。		排便状況の把握に努めており、一人ひとりに合わせた対応を行っている。
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	一人ひとりの状況に応じた口腔ケアに努め支援している。		自立されている方も完全ではないと思われ、今以上に意識して支援していきたい。
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事の摂取量、一日の水分摂取量把握に努め支援している。		特に水分摂取量は大切なことであり、全職員常に意識し支援している。
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防対策委員会を毎月1回開催し、ミーティング等を通し全職員に周知徹底している。		手洗い・うがいの励行、消毒等を行っている。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>食中毒予防に十分に配慮し、調理器具等の衛生(消毒等)に努めている。また、食材の管理にも注意している。</p>		<p>食器類の煮沸消毒等、衛生管理に努めている。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>家庭的な雰囲気作りに努め、花を飾る等親しみやすい玄関や、建物周囲となるよう心がけている。</p>		<p>家庭的であり安心して訪問して頂ける雰囲気作りに努めている。</p>
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>音や光には、配慮しながら生活感、季節感のある調度品を飾るなどして、皆さんが居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>		<p>光には常に注意し、カーテンの開閉等配慮している。また、壁面飾り等でも季節感を味わえる工夫をしている。</p>
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>畳の間の活用や、ソファ等配置に工夫し、思い思いに過ごせるように支援している。</p>		<p>ソファの配置、廊下にベンチ等配置し、思い思いに過ごされている。</p>
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には、本人馴染みの物を置いたり、好みの物を飾るなどし、少しでも居心地の良いものとなるよう支援している。</p>		<p>本人の馴染みの物を居室に持ってこられている。また、写真を飾るなど、本人の思いを大切にしている。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>温度、湿度に気を配り、状況に応じた換気など、こまめに行っている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの身体機能を活かし、自立した生活が送れるよう、工夫支援している。</p>	<p>廊下手すりの設置、各トイレ手すり設置。</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>一人ひとりの状況に応じた、声かけ・促しを行っている。</p>	<p>わかる力を見極める努力をしている。</p>
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>ベンチ・パラソルの設置や、洗濯物干しの利用等、外でも活動できるよう工夫している。</p>	<p>家庭菜園の活用、洗濯物干しの活用、ベンチに座る等思い思いに過ごされている。</p>

サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない

サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
96	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p><input checked="" type="radio"/>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p>
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p><input checked="" type="radio"/>ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input checked="" type="radio"/>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p><input checked="" type="radio"/>ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

納涼祭、クリスマス会等の行事も行い、日常的にホームを開放し地域の方達との交流を持ってきた。またそのことで、利用者がホーム内での生活で閉じこもることなく楽しんで生活を送られている。